

新生児聴覚スクリーニング 検査を受ける保護者の方へ

○新生児聴覚スクリーニング検査とはどんな検査？

生後3日以内に、眠っている赤ちゃんに音を聞かせて反応を調べ、「今のところ聞こえている(パス)」か「もう一度検査が必要(リファー)」かを調べます。この段階では難聴があるかどうかは、まだはっきりしません。リファーの場合は、1週間以内に再検査をします。

○この検査でもし「リファー（要再検査）になったらどうするの？

もう少し詳しい検査をします。生後1ヶ月～3ヶ月に大学病院などで赤ちゃんが眠っている間にABR（聴性脳幹反応）等の検査をします。

○リファーだった場合、詳しい検査をするまでの間はどうかしたらいいの？

たくさん抱っこして愛情いっぱいの笑顔でお世話してあげてください。ご心配な時はいつでもご連絡下さい。家庭訪問も随時行っております。

○もし難聴が確定したらどうかしたらいいの？

難聴のお子さんに合わせた子育てや教育の方法があります。専門的な教育を行っている本校にご相談ください。大丈夫、赤ちゃんはしっかり育っていきます。

気がかりなことがあれば、お気軽にご連絡ください。

どんな些細なことでも構いません。

確定診断前でも対応しています。

★相談は無料です。

★相談日時は、ご都合に合わせて設定いたします。

福岡県立久留米聴覚特別支援学校

TEL 0942-44-2304

FAX 0942-45-0139

〒839-0852 久留米市高良内町2935

kotobanomorikurume@gmail.com

聴覚障害教育支援

NPO 法人言葉の森くるめ

TEL/FAX 0942-45-2011

kotobanomorikurume@gmail.com

福岡県乳幼児聴覚支援センター

TEL 092-402-2673

FAX 092-415-3126

fmc.choukaku@fukuoka.med.or.jp



久留米聴覚特別支援学校 乳幼児教育相談（ひよこ組）では

親子が通じ合い、分かり合えるように、ひとりひとりのお子さんの全体的な発達を見つめながら、子育て全般にわたって支援を行っています。

0歳児～2歳児のお子さんを対象に、週1回から2回程度、個別指導や集団指導を行います。

（3歳以上のお子さんもお都合に合わせて、支援しています）



相談内容

- お子さんとのコミュニケーションの取り方
- 聞こえやことばを育てるための関わり方
- 医療機関との連携による、聴力測定やお子さんに合った補聴器の選択・調整
- 保護者同士が相互に話し合える場の提供
- 保護者学習会を通じて、聞こえない・聞こえにくいお子さんの教育・育児全般についての支援
- 聞こえない・聞こえにくい人との出会い、手話学習の支援

0歳の赤ちゃんから相談を行っております。
お気軽にご連絡ください。